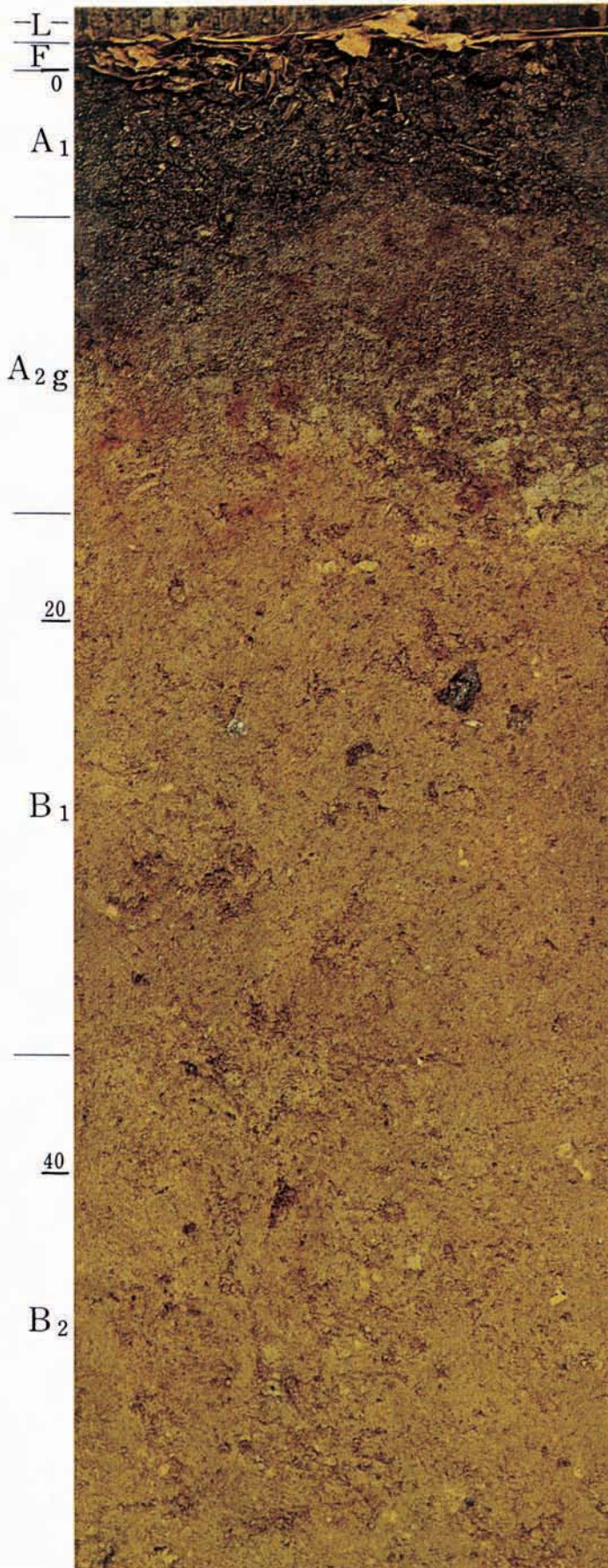


断面 16 B_{D-g}

適潤性褐色森林土 その5



母材料：石英安山岩

採取地：秋田県 阿仁事業区 23 林班い小班

海拔高：940 m

地 形：緩傾斜台状地の小凹部

方 位：S50°W

傾 斜：10°

林 相：ブナ天然林

断面記載：

- | | | |
|-----------------|---------|--|
| L | 1 cm | ブナ落葉，粗。 |
| F | 1 cm | 細片状で部分的には欠除。 |
| H | 0~1 cm | 部分的に存在。 |
| A ₁ | 5 cm | 黒色 (10YR ² / ₁)，腐植に富む，
礫なし，軽埴土，団粒状構造弱度に発達，
軟，湿，中根に富む。 |
| A _{2g} | 5~8 cm | 灰黄褐色 (10 YR ⁴ / ₂)，腐
植に富む，礫なし，軽埴土，カベ状，軟，
湿，斑鉄を含む，根あり。 |
| B ₁ | 23 cm | にぶい褐色 (7.5 YR ⁵ / ₄)，腐
植を含む，小礫を含む，軽埴土，カベ状，
堅，湿，上部に斑鉄あり，根なし。 |
| B ₂ | 25 cm + | 明黄褐色 (10 YR ⁶ / ₆)，腐
植乏し，小礫を含む，軽埴土，カベ状，
堅，湿，根なし。 |

採取年月日：1965年6月22日

A層の状態、A層からB層への推移の状態およびB層の色調は、B_D型土壤に類似しているが、A₀層が発達すること、A層の上部に灰白色化した部分があり、A層下部からB層上部にかけて斑鉄がみられることが相違している。A₀層直下の部分が還元の影響を受けたためと考えられる。脊梁山脈から裏日本にかけて、降雪量の多い地帯の緩斜地に分布している。A層上部には団粒状構造も見られるが、土層は大部分カベ状を呈し、粘土質である。酸性が強く、塩基飽和度も低い。降雪が多く、土壌の理化学性が悪いので、ブナの天然更新か、スギの長伐期施業が考えられる。

断面 No. 10 の B_{B(w)} 型土壤と関係の深い土壤と考えられる。



採取地の地形と林相

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	C E C m.e	置 換 性			Ca/CEC	Mg/CEC	K/CEC
							Ca	Mg	K			
A ₁	17.8	1.27	14	4.0	26.1	52.9	1.44	1.89	0.68	2.7	3.6	1.3
A _{2g}	5.0	0.30	17	4.4	21.1	22.5	0.62	0.49	0.26	2.8	2.2	1.2
B ₁	3.6	0.24	15	4.5	35.6	30.5	0.78	0.44	0.22	2.6	1.4	0.7
B ₂	2.7	0.16	17	4.8	23.5	33.5	2.16	0.88	0.19	6.5	2.6	0.6
B ₃	1.2	0.07	17	5.1	19.4	26.5	1.01	0.87	0.13	3.8	3.3	0.5

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比								土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	石 英	長 石	火 山 ガラス	角閃石	輝石	磁鉄鉱	軽石粒	凝灰 岩粒	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
A ₁	19.2	16.8	22.4	2.4	4.0	1.6	33.6		++	×	+	
A _{2g}	20.6	12.6	19.3	1.5	15.6	2.2	28.2		++		+	
B ₁	19.5	6.8	27.1	0.8	9.3	0.9	35.6		++	×	+	×
B ₂	5.8	2.9	2.9		1.0		58.0	29.4	++	×	+	+
B ₃	4.1	9.6	5.5		1.4		57.5	21.9	++	+	+	+
B ₄	3.6	16.8	1.2		1.2		51.4	25.6	++	+	++	+

層 位	粗 砂	細 砂	微 砂	粘 土	土 性
A ₁	18.2	12.1	36.4	33.3	/C
A _{2g}	32.2	14.4	27.8	25.6	/C
B ₁	17.2	12.7	32.2	37.9	/C
B ₂	10.2	12.5	33.0	44.3	/C